

## ○水稲除草剤は効果的に使いましょう！

近年、水田雑草の取りこぼしが多く見られます。**水稲除草剤を適期に散布**し、確実に雑草を抑え、稲の順調な生育と労力削減の両立を目指しましょう。

### 【共通のポイント】

- 1 代かきを丁寧にし、**田面を均一**に仕上げましょう。
- 2 除草剤は風の強い日を避けて散布しましょう。
- 3 水口と水尻をしっかりと止め、水深5cm以上にしてから、除草剤を散布しましょう。
- 4 除草剤の効果を高めるために、**散布後7日間は湛水管理**を行いましょう。また、田面が露出したら、ゆっくりと入水（足し水）しましょう。

※除草剤は種類も多く、散布時期や散布回数、散布方法が異なります。散布の際は必ず【営農のてびき】P.28～35を確認して下さい。

### 【移植におけるポイント】

- 1 代かきから田植えまでの日数は3～5日を目安に、**1回目の除草剤は田植え後5～7日頃**（代かきから10日以内、※初期剤には8日以内の剤もある）に散布し、雑草を取りこぼさないようにしましょう（図1）。
- 2 補植は田植え後すみやかにを行い、**除草剤散布後はほ場に入らないように**しましょう。
- 3 **例年、雑草が多いほ場は2回目の除草剤**も散布しましょう。
- 4 2回目の除草剤散布前には、水の入れ替えと酸素供給のため、2～3日程度の軽い田干しを行いましょう。1回目除草剤散布の15日後頃を目安にサンパンチ1キロ粒剤やテックケン1キロ粒剤等の中期剤を散布しましょう。

5月						
日	月	火	水	木	金	土
4/26	27	28 代かき	29	30	5/1 田植え	2 補植
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18 軽い田干し	19	20	21	22	23

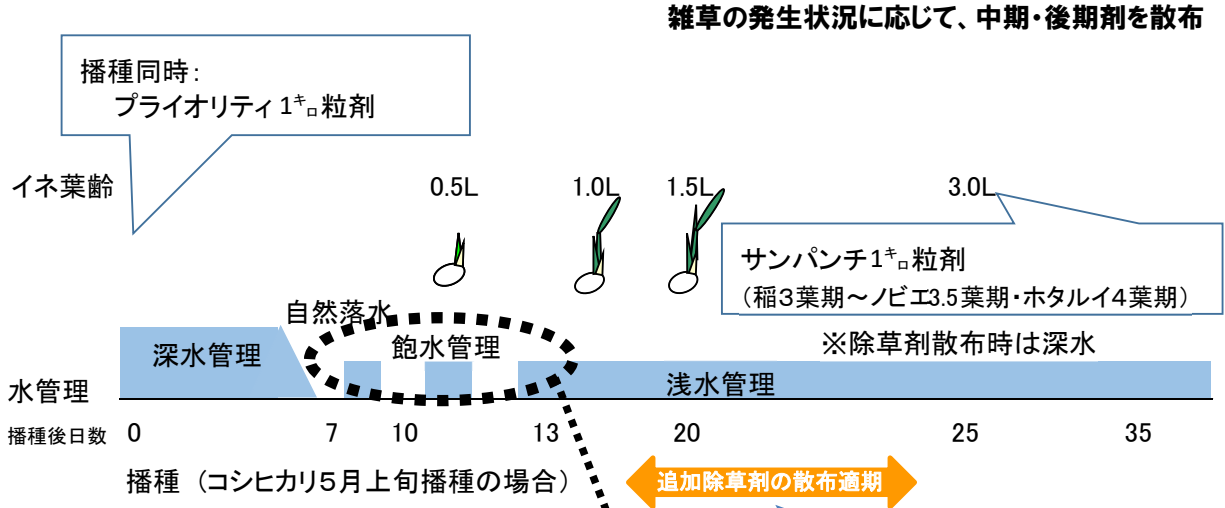
図1のスケジュール例には、以下の要素が含まれています：  
 - 代かき（4/28）から田植え（5/1）までの期間は10日以内と示されています。  
 - 1回目の除草剤散布適期は、田植え後5～7日頃（5/6～5/7）と示されています。  
 - 2回目の除草剤散布適期は、5/15～5/23と示されています。  
 - 5/18には軽い田干しが行われます。

図1 代かきから除草剤散布までのスケジュール例

【直播のポイント】

〔鉄コーティング〕

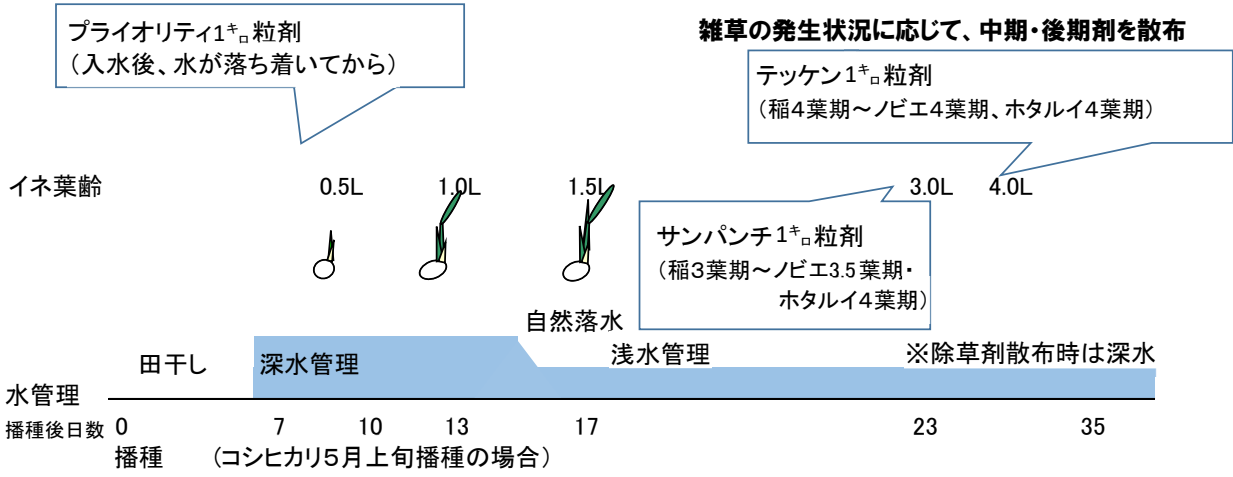
苗立率を高めるため、播種から8日間以上は湛水しない



雑草の発生が多い場合は追加散布

- ・クリンチャー1kg粒剤 (播種後10日～ノビエ3葉期)
- ・アクシズMX1kg粒剤 (稲1葉期～ノビエ4葉期、ホタルイ4葉期)

〔カルパーコーティング〕



※お問い合わせは、JA なんと営農部(62-0261)または砺波農林振興センター(32-8147)へ

富山県農薬危害防止運動実施中 ～4月1日～9月30日～